

## 最先端のきのこ栽培 ホクト株式会社

日本唯一のきのこ総合企業「ホクト株式会社」では、最先端のきのこ開発、栽培等の様子を研修しました。

ホクトでは、広大な敷地内のオートメーション化された施設内でバイオテクノロジー技術を使用した新種の開発、消費者ニーズを的確にとらえた商品の大量生産、安定供給、万全な品質管理などが説明されました。

本町では、第三セクター「(有)奥出雲サンマッシュ」の経営改善が喫緊の課題と考えられており、今後の取り組みの参考となりました。



▲ オートメーション化された生産ライン

## ダムを活かした町づくり 温井ダム・土師ダム

二日目は安芸太田町の温井ダム、安芸高田市の土師ダムを視察しました。

温井ダムは、堤の高さが百五十六メートルあり黒部ダムにつぐアーチ式ダムで、周辺には、自然公園、運動広場、歴史民族資料館、特産品生産施設などの施設整備が行われていきます。

また付近には、第三セクターで経営するリゾートホテルもあります。経営的には厳しい状況が続いていると担当者から説明があり、今後の本町での施設整備のあり方に一石を投じました。



▲ 堤の高さ156メートルを誇る温井ダム



▲ 土師ダムの親水公園には多くの方が訪れています

土師ダムは、昭和四十九年に完成した多目的ダムで、周辺に野球場、テニスコート、サイクリングロード等の様々なスポーツ施設が整備され、加えて湖上ステージ、カヌーの競技コース等湖面利用もなされており、当日も多くの観光客で賑わっていました。

現在町内では、平成二十二年の完成を目指し尾原ダムの建設が進められています。この周辺整備、ダムを活用した町づくりを進めるためには、事業の取捨選択を行い、共通認識を持ち取り組んでいくことが必要となります。

### 自治会長会研修視察に参加して

自治会長会連合会長 中林英清

視察の主目的は、町内に約290ヘクタールある国営開発農地の有効活用の方策と4年後に完成予定の尾原ダム周辺をどのように整備すべきか先進地を視察して考えるためでありました。

国営開発農地等の視察では、いずれも大規模施設で農業生産が行われており、今後町でも、企業参入を積極的に進めると共に農地の再造成と施設建設などは行政が支援する必要を感じました。

ダムの視察は2カ所でしたが、それぞれ特徴がありました。ホテルなど建造物の多い温井ダムは、その維持が厳しい状況であり、一方、土師ダムは自然環境を活かした整備がされ、多くの親子連れなどが楽しんでおり対照的でした。

これらを参考に尾原ダム周辺の施設や自然を活かした周辺地域の活性化に向けた取組みをしなければならないと感じました。

最後に、自治会長会研修視察について昨年、本年とテレビ・新聞で視察の内容を知らない批判的な報道がありましたが、町民の皆さんには視察の成果をお知らせし、また、今後の町行政に反映させる有意義な視察となりました。

この視察の様子は「ジョーホーにた」で、参加された自治会長さんに協力頂き、特別番組として編集され、多くの町民の皆様にご覧頂きました。

町では、この研修視察を活かして、合併して良かったと実感できる町づくりを町民の皆さんと一緒に進めて行きたいと思えます。

今後町行政に対しまして、ご理解とご協力をよろしくお願い致します。